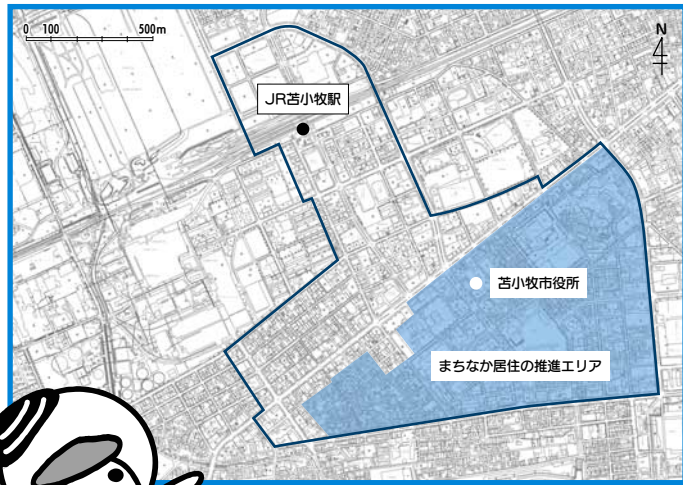


広がるまちなかエリア

CAP3の対象区域は、CAP2までのエリアに対し、今回新たに「まちなか居住の推進エリア」を追加した約174haとし、これまでよりも広い範囲で取り組んでいきます。



□ CAP対象区域 (約174ha)
■ まちなか居住の推進エリア (約84ha)

※今回、CAP3から新たに追加したまちなか居住の施策に特化したエリア

今回から
対象区域が広がりました



CAP3の効果

まちなかへのアクセス環境を向上させ、にぎわい創出を目的に開設した拠点施設、商店街、民間主催のイベントなどを連携させることで、より効果的な事業が展開できます。民間の活力を生かした新たなにぎわいにより、交流人口の増加が期待できます。

また、まちなか居住の施策を推進し、子どもから高齢者まで全ての市民にとって暮らしやすい生活空間へと充実させることで、今後の定住人口増加につなげていきます。

CAP3の スタートにあたって

CAP3の計画づくりに

においては、苦小牧青年会議所と連携して開催した「市民議会」における提案、苦小牧工業高等学校の生徒たちと一緒にまちなかの課題を解決した「まちなかみんなのベンチプロジェクト」、総合経済高等学校の生徒たちが市民議会で秋の新たなイベントとしてハロウィンを開催したいと提案し、実現に至った「ハッピーハロウィンフェスタ」など、多くの若い世代の皆さんの取り組みからヒントをいただきました。



苦小牧市長 岩倉 博文

こうした中、今年度から新たにスタートするCAP3では、地域住民の皆さんや各種団体に加え、将来のまちづくりの担い手である子ども、若者、子育て世代と共に、日常的ににぎわい創出を目指していきます。また、COCOTOMAやまちなか交流館といった既存の拠点施設や商店街との連携、ネットワークによる人の流れを生み出すことで、20年先を見据えたまちづくりに全力で取り組んでいきたいと考えています。

市民の皆さんにもぜひCAP3に参加していただき、一緒に明るいまちなかを創っていきましょう！



市民の皆さんにもぜひCAP3に参加していただき、一緒に明るいまちなかを創っていきましょう！

子供・若者 まちづくり参加 推進事業【新規】

若い世代の市民がまちづくり活動に携わる機会を創出し、まちなかの環境整備に取り組みます。



まちなか産学連携推進事業【新規】

企業、商業関係者などと連携して、まちなかに対する調査研究活動、政策提言、まちづくり活動を実施する学校に支援を行います。

バス利用者満足度向上事業【新規】

まちなかにおける公共交通の利便性の向上を図るため、バス事業者と連携し、若者の発想やアイデアを生かした魅力づくりに取り組み、課題の解決、利用者満足度の向上に努めます。



まちなか居住支援事業【継続】

さまざまな都市機能が集積しているまちなかに、暮らしやすい生活空間の整備を進めるとともに、多様な居住ニーズに対応した住宅の供給などを推進していきます。